

安保破棄ニュース

No. 504
2019. 4. 11

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

勝つまで あきらめない！

沖縄とともに、たたかい続けよう！

一斉に桜の花が咲き出した7日、統一地方選挙の前半戦と大阪府知事選挙、大阪市長選挙が投票の日を迎えました。

私たち大阪安保も平和友好団体の人々と共に知事選挙・大阪市長選挙の宣伝行動を行い、都構想ストップ、維新政治に終止符を打とうと訴えましたが、結果は大変残念な、悔しいものとなりました。

そもそも都構想を問う住民投票の実施をめぐり、その実施時期を巡って維新の会と公明党の間で結ばれた密約の解釈の違いに端を発する今回のW選挙。維新の会の知事と大阪市長が任期中で職を辞し、立場を入れ替えて立候補するという脱法的な

行為によって選挙が行われるという、まさに選挙の私物化です。

都構想を掲げ、地方自治を破壊して10年間続いている「異質の」維新政治を終らせようと、自民党と公明党本部が推薦する知事候補の元副知事小西禎一さんと、元自民党大阪市議の柳本顕さんを明るい会とよくする会が自主的に支援するというかたちでたたかいましたが、維新の会の吉村洋文氏と松井一郎氏が知事、市長に当選し、維新の会は同時にたたかれた府会議員選挙(定数8)で過半数の51議席を、市会議員選挙(定数8)でも過半数には届かなかったものの40議席を獲得して第1党となりました。

朝日新聞が7日に実施した出口調査によると投票者の59%が都構想に「賛成」と答え、その9割が吉村氏と松井氏に投票しています。市長選挙で見ると、維新支持層が44%を占め、その97%が松井氏に投票。自民支持層の33%、無党派層の半数からも支持を集めています。知事選挙でも、64%が都構想に「賛成」。投票者の4割が維新を支持し、その99%が吉村氏に投票。小西さんは自民支持層の49%しかまとめられず、無党派層の支持も38%に止まっています。

私たちはこの事実を厳しく受け止め、しかし、決して諦めることなく、今後如何にして、維新政治の実態と都構想の欺瞞を市民に正しく伝えていくのかを、探求し続けなければなりません。

そして、大阪においても市民と野党の共闘を文字通り本気で進め、安倍政権を倒して国民民主権、民主主義、地方自治を守るためのたたかいを、沖縄と共に続けましょう。

共にがんばろう!!



沖縄のたたかいから 学ぼう！

沖縄連帯ツアーへ参加を！！

沖縄における昨年9月の知事選挙、今年2月の県民投票。それらのたたかいを勝利に導いた、沖縄県民のたたかいは原動力とは何なのか？

そのことに迫るべく、安保破棄大阪実行委員会では、沖縄連帯ツアーを企画しました。

2月24日に行われた県民投票において、主権者である一人一人の沖縄県民は真剣に沖縄の現状と向き合い、未来を見据えて、子どもたち孫たちに胸を張って手渡せる「平和で誇りある豊かな沖縄」を実現するために立ち上がり、揺るぎない「辺野古米軍新基地建设反対」の圧倒的な「民意」を示されました。

この県民投票のたたかいは、全国に大きな希望と確信をもたらしましたが、それでも、安倍政権は今なお辺野古での基地建设工事を強行し、「これでもか!」と、県民に諦めさせようとしています。

しかし、沖縄県民は決して諦めることなく、今日も不屈のたたかいを続けています。

この、法治国家としてはあり得ない、憲法で保障された民主主義・地方自治・個人の尊厳を踏みにじる安倍政権を、全国の国民の手で、一刻も早く「撤去」しなくてはなりません。

そんなたたかいは大きな力となる「市民と野党の共闘」が沖縄では「オール沖縄」として実現しています。

今回の沖縄連帯ツアーでは、沖縄を取り巻く日本国憲法と日米安保条約との大きな矛盾に先立つ沖縄戦にさかのぼり、当時の国家が造り出した無法な少年ゲリラ部隊「護郷隊」に焦点を当て、その足跡を辿りながら戦争の真実を学びます。そして、戦後の沖縄がおかれた実情から現在につながる「不屈のたたかい」の源流を探り、現在、またしても国家が「戦争する国」づくりのために違法・無法に続けている辺野古米軍新基地建设などに抗つての「不屈のたたかい」に参加して、沖縄県民の心に迫り、「オール沖縄」を私たちの大阪で実現するための確信を掴めたいと思います。

大変お忙しい皆さまとは存じますが、奮ってご参加いただけますよう、よろしくお願ひします。

安保破棄大阪実行委員会

沖縄連帯ツアー

日程：2019年5月30日～
6月2日

費用：7万5000円

内容：米軍基地視察(普天間基地、嘉手納基地)・沖縄戦護郷隊体験証言を聞く・辺野古座り込み・集会参加、高江座り込みテント訪問 アブチラガマ、平和祈念公園、魂魄の塔 など

問い合わせ、申し込みは、安保破棄大阪実行委員会までお願いいたします。

大阪安保総会



学習会講師
林竜二郎さん



方針を提案する
守山事務局長

3月16日(土)の午後、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会2019年総会(幹事会)を、大阪民医連会議室にて開きました。

前半は、「県民投票後、沖縄・全国でいかにたたかうか」をテーマに、学習会を行いました。講師には、「辺野古新基地は必ず止められる」の執筆者の一人である、林竜二郎さん(日本共産党基地対策委員・安保破棄中央実行委員会事務局次長)に来ていただきました。

林さんは、昨年1年間で120日間以上、沖縄の現地へ選挙などの支援に入り、県民投票でも現地でも活動されてきました。その経験から、沖縄県民投票の結果は、自治や民主主義を求める思いと、美ら海を守ろうとする思いの結果であったと話されました。それにもかかわらず、安倍政権は強行に工事を進めようとしているが、この動きは必ず止められるということを示されました。また、普天間基地を固定化しているのは辺野古移設を前提としている安倍政権であって、県民から土地を強奪してつくられた基地は即時無条件返還を求めて、アメリカに対し本腰を入れた外交交渉するのが筋なんだという世論を広げていかなければいけないと語られました。辺野古の問題だけでなく、様々な問題を解決するためには安倍政権を退

陣に追い込むのが一番の力になる。統一地方選挙と参議院選挙で、自民・公明・大阪では維新と安倍政権に厳しい審判を下すように頑張っていこう。と、最後に締めくくられました。

後半は、安保破棄大阪実行委員会総会として、今年の運動方針を確認しました。その中では、日米地位協定の抜本的改正、さらに日米安保条約廃棄に向けた世論喚起に努めることと、加盟諸団体が日常的に携わる諸分野から、憲法に照らして見直し、諸課題を解決するために協力してたたかうことなどが示されました。

「辺野古新基地は必ず止められる」オスプレイは、

日本のよこしまをさらすー

米軍普天間基地所属輸送機オスプレイが、4月1日に大阪空港へ緊急着陸しました。これに対して、安保破棄大阪実行委員会では、総理大臣と防衛大臣あてに「大阪空港へのオスプレイに緊急着陸に抗議し、全国での飛行停止と配備撤回を求める」要求を文書で送付しました。

4月16日には、近畿中部防衛局への申し入れ行動を近畿各府県の安保破棄実行委員会とともにしています。

日本でのオスプレイの配備を撤回させるために、声を上げ続けることが求められます。

オスプレイの危険性などをしっかりとつかむために、安保がわかるブックレット⑮「改訂版 オスプレイと日米安保(1部400円)」を是非、ご活用ください。大量購入で割引もあります。ご注文お問い合わせは、安保破棄大阪実行委員会までお願いします。



当面の予定

4月

- 19日(金)大阪安保主催沖縄連帯ツアー申し込み一次締め切り
- 23日(火)大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)

5月

- 1日(水)第90回大阪メーデー(13:30~扇町公園)
- 3日(金)5・3大阪総がかり集会(13:30~扇町公園)
- 8日(水)大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
「沖縄連帯ツアー」最終締め切り
- 15日(水)沖縄連帯ツアー事前学習会①(18:30~民医連)
- 22日(水)沖縄連帯ツアー事前学習会②(18:30~民医連)
後半にツアー説明会
- 23日(木)大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)
- 30日(木)大阪安保・沖縄連帯ツアー(~6月2日)

6月

- 5日(水)大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 21日(金)大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)
- 23日(日)6・23を考えるつどい

23宣伝行動

3月の23定例宣伝行動を20日に行いました。維新の会の党利党略で知事と大阪市長のダブル選挙が入ったこともあり、告示日との関係で前倒しして行いました。

憲法会議、自治労連、母親大会連絡会、うたごえ協議会から弁士を出してもらい、淀屋橋で、うたごえと、ビラ配布、「辺野古新基地建設中止と普天間基地の無条件撤去を求める」署名の呼びかけを行いました。安倍政権の大軍拡路線、改憲策動に対する批判や、維新政治打倒のうたごえなど、弁士の声にもかなり力が入っていました。

「これ辺野古反対の署名？」と、自分から歩み寄ってきて署名をしてくれる人もいました。この間の行動で、大阪でも「辺野古新基地建設反対」の思いが広がっていることをしっかりと感じられます。

4月の23宣伝行動は、23日に行います。是非、ご参加ください。

